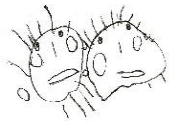


いっぽ だより



H30年度 No.1

はじめのいっぽ弥生
平成30年4月5日

春休み真っ只中！いっぽで大活躍していた雪山もすっかり小さくなり、散歩をしていると、フクジュソウやフキノトウも見かけるようになりました。子どもたちはワクワクドキドキ、めいっぽい日々の活動を満喫しております。

◎29年度を振り返って◎

3月30日（金）に行われたオマチマンコンサートでは、全身で笑って、歌って、子どもも大人も一体となり、躍動感あふれる時間を過ごすことができました。昨年度は3回もコンサートをしていただくことができ、その盛り上がりにも毎回感動するとともに、「小さな事業所が、たびたびプロのミュージシャンの力を借りられることは奇跡のようなことで、本当に恵まれているなあ」と感じます。



翌31日（土）は、以前から計画していたJRの旅に行ってきました。小中学生19人、引率者5人の計24人で、池田町まで各駅停車の道のりを楽しんできました。

「小学生は一人440円、中学生になったら、大人と同じ900円なんだね」

「帰りの発車時間も調べなきゃ」

切符の値段や、時刻表などに意識を向けている子もいます。

そうです、遊ぶことだけじゃなくて、どれくらいのお金や時間がかかるのかを考えるのも大事！

大人数だったので、昼食は、駅前のレストランとラーメン屋さんに分かれました。ハンバーグランチや具たくさんカレーライス…。メニューの値段を見てドキドキしている大人でしたが、みんなで外食をするなんて、めったにない経験です。できるかぎり各自が希望する食事を食べ、食後はワイン城まで歩いて行く子もいれば、街並み探検を楽しむ子もいました。

また、かず先生にお願いして、今年もフロアカーリングを楽しみました。かず先生いわく、本格的な道具を使って遊べる場所は、まだほとんどないそうです。そんな中、何度も経験をつんでコツをつかみ、ハイレベルな試合を展開できるまでに成長したいっぽの子どもたちは、やっぱり幸せだなあと痛感しました。

◎いっぽの運営にかかわるお知らせとお願い◎

春休みだけでなく、29年度の年間ムービーを通し、四季折々、その季節ならではの経験をたくさん積んできたことがお伝えできたかなと思います。

いっぽを開設して丸7年になる歴史の中で、様々な行事やイベントを行ってきました。その際、これまで「お金は子どもに還元するもの」だと考え、参加費などの徴収は特別行ってきませんでした。これからも、可能な限りそのつもりであります。

ところが、国の決定により、平成30年4月から利用者一人当たりの報酬単価が大幅に下がり、一日の受け入れ人数も厳しく制限されるようになりました。いっぽでも、今後さまざまな調整が必要となってきますので、まずは職員一丸となって、光熱費などの経費節減に努めてまいります。

学校や幼稚園、保育所などは、欠席をしても運営する側に収入的な影響はありませんが、いっぽのような事業所は、「利用者が休むと、収入は0円」となり、運営に大きく影響してきます。また、一日の受け入れ人数が厳しく制限されるため、「この日に休むので、別の日に振替えて利用したい」といった調整が、以前よりも難しくなってくるというのが実情です。

各ご家庭においても、**突然の予定変更や利用のキャンセルは極力避けていただく**など、みんなのいっぽが末永く運営を続けていくため、なにとぞご協力よろしくお願い申し上げます。

(体調不良時はもちろん、やむを得ずお休みや変更をしなければならない場合には、遠慮なくおっしゃってくださいね。)

※そして、先日もお知らせしましたが、今後各ご家庭に「**区分判定結果**」の書類が二部届きますので、**一部を速やかにいっぽへ提出**していただけますよう、重ねてお願いいたします。

